

なんば駅前広場

- 経過
- ・「なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会」始動（2011.6～）
 - ・「ミナミの賑わいづくり、魅力発信に向けた提言」作成（大阪商工会議所／2015.2）
 - ・「なんば駅周辺まちづくり構想具現化案」作成（なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会／2015.3）
 - ・「なんば駅前広場空間利用検討会」設置（2015.12）

なんば駅周辺道路空間再編社会実験の実施（2016.11.11～13）

主催：なんば駅周辺道路空間再編社会実験実行委員会

構成メンバー：なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会（※） 大阪市 大阪府 大阪商工会議所（※）

精華連合振興町会・難波三丁目東町会・難波三丁目西町会・難波振興町会・河原連合振興町会・難波千日前西町会・難波千日前東町会・日本橋連合振興町会
 難波中振興町会・難波東振興町会／戎橋筋商店街振興組合・千日前道具屋筋商店街振興組合・でんでんタウン協会・なんさん通り商店会・なんばCITY会
 難波センター街商店街振興組合・なんば南海通り商店会・なんなんタウン商店街振興組合・日本橋筋商店街振興組合・日本橋筋西通り商店会／大阪地下街株式会社
 関電不動産開発株式会社・株式会社高島屋・東宝株式会社・南海電気鉄道株式会社・株式会社丸井・株式会社良品計画

なんば駅周辺道路空間を来街者が待ち合わせ等に活用できる憩い・くつろげる空間と、地域情報をはじめ関西エリアの観光情報を発信するなど、世界をひきつける観光拠点にふさわしい人中心の空間として整備し、その空間に対する評価を行う。



【来場者アンケート結果】

道路空間から人が主役の空間へ

- ・約9割が歩行者空間化を「とてもよい」「よい」と評価している。
- ・どう過ごしたいか尋ねたところ、「飲食」「休憩」の2つが多い。くつろげる機能を求めている。

着地型（体験型）観光案内所

- ・案内所で新たに知った観光スポットに立ち寄るとの回答が、日本人82%、外国人62%あった。
- ・ミニツアーに22組（うち訪日観光客18組）が参加し、13組が紹介した施設を買物や飲食、体験で利用した。

なんばひろば

検索

公民が協働して実現するための指針として

なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本計画 を策定（H29.3）

将来イメージ

大阪のおもてなし玄関口 ～世界をひきつける観光拠点づくり～

上質な居心地の良い空間

人のまちミナミの中心として、待ち合わせや休憩のできる上質な居心地の良い空間を創造する

着地型観光案内所

ミナミ・大阪・関西を回遊する拠点として、地域と連携し情報を届ける



《なんば駅前広場空間利用検討会（座長：橋爪紳也 有識者 地域団体 行政 大阪商工会議所）》



御堂筋完成80周年記念事業 2017

世界最新モデルとなる、人中心のストリートへ。

詳しくは御堂筋完成80周年のホームページをご覧ください。

<https://mido-suji80.info/>

